



2015.11.1
No.187

市議会だより

9月
定例会



決算審査特別委員会にて
平成26年度
剰余金の処分の可決及び
決算の認定！

写真(落成となった相生福祉センター・保健センター:平成 27 年 9 月 28 日撮影)

CONTENTS

- 9月定例会の概要／市政功労表彰の決定／
議会日誌…………… ②
- 市政に関する質問…………… ③ ～ ⑧
- 各常任委員会審査の概要…………… ⑨

- 審議結果／人事案件…………… ⑩
- 請願審査結果／意見書…………… ⑪
- 平成26年度決算審査特別委員会
審査の概要…………… ⑫

9月定例会の概要

甲府市議会は、9月定例会を9月2日から28日までの27日間の日程で行いました。

開会の冒頭、議長より、鮫田光一議員が平成27年7月23日付けで繰り上げ当選された報告がありました。

また、樋口市長より、提案理由の説明に先立ち、「市立甲府病院のRI検査問題」に関しまして説明がありました。

今定例会では、平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）、甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定についてなど、市長から提案された27案件を審議し、すべて、原案のとおり承認・可決・認定・同意いたしました。

主な条例につきましては、甲府市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定についてで、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報の適正な取扱いの確保等に関し所要の改正を行うためのものです。

主な補正予算につきましては、平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）で、産業立地等推進事業費等を追加したことによる補正となっています。

なお、請願につきましては、「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願」、「森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める請願」の2件が採択となりました。

市政功勞表彰の決定（地方自治の進展）

本市の発展に尽力され功績が顕著であることから、次の方々を市政功勞表彰者として決定する案件が提出され、全員異議なく可決されました。

森澤幸夫 齋藤憲二 （敬称略）

議 会 日 誌

7月13日(月)	会派代表者会議	9月10日(木)	民生文教・総務委員会連合審査会
7月15日(水)	民生文教委員会(所管事項調査)		常任委員会(総務・民生文教)
7月21日(火)	市議会議員救命救急講習会	9月11日(金)	常任委員会(経済建設・環境水道)
7月23日(木)	市議会議員当選証書付与式・ 議会事務局説明会(鮫田議員) 総務委員会(所管事項調査)	9月14日(月)	議会運営委員会、本会議、 各常任委員長報告、採決、 環境水道委員会(所管事項調査)
7月24日(金)	環境水道委員会(所管事項調査) 新人議員研修会(鮫田議員)	9月15日(火)	決算審査特別委員会
7月27日(月)	経済建設委員会(所管事項調査)	9月16日(水)	
7月30日(木)	会派代表者会議	9月17日(木)	
8月 6日(木)	山梨県市議会議長会議員合同研修会	9月18日(金)	
8月11日(火)	政策形成支援研修会	9月24日(木)	
8月20日(木)	新人議員研修会	9月25日(金)	
8月26日(水)	9月定例会招集告示	9月28日(月)	議会運営委員会、本会議、 決算審査特別委員長報告、 討論、採決、提案理由の説明、 経済建設委員会、経済建設委員長報告、 採決、9月定例会閉会
8月28日(金)	議会運営委員会、会派代表者会議		
9月 2日(水)	9月定例会開会、提案理由の説明、 会派代表者会議		
9月 7日(月)	本会議、質疑及び市政一般質問	10月 6日(火)	市議会だより編集委員会
9月 8日(火)			会派代表者会議
9月 9日(水)			
	議会運営委員会、常任委員会付託、 決算審査特別委員会、 常任委員会(総務・民生文教)		



行政改革について



創政こうふ
代表質問（一問一答）

清水 仁

質問

今日の行政を取り巻く環境に対し、行政改革をどのように捉え、今後取り組まれていくのかお示しください。また、現在取り組んでいる行政改革大綱のうち、窓口休日開設推進事業の見直しと、住民票の写し等のコンビニ交付導入について伺います。

答弁

行政改革については、社会情勢の変化に伴う新たな行政課題などに的確に対応するため、本市にとってよいものは積極的に取り入れながら将来に負担を残さない効率的・効果的な質の高い行政運営の仕組みと環境を整えていくことにあると考えております。平成28年度からの新たな行政改革大綱では、限られた行政資源を無駄なく最適に配分・活用するため、行政を経営するという新たな視点に立ち、行政改革に取り組んでまいります。

また、窓口休日開設推進事業の見直しにつきましては、平成25年度に実施したアンケート調査の結果より、日曜窓口の必要性が高いことが確認できましたことから、引き続き実施してまいります。住民票の写し等のコンビニ交付導入については、今後、番号制度導入に伴う影響範囲や費用対効果などを総合的に判断していく必要があることから、引き続き検討を重ねてまいります。

RI検査問題について

質問

放射性検査薬の過剰投与問題につきまして、この問題をどのように捉え、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答弁

市立甲府病院のRI検査問題は、市長就任に際しての最重要課題の一つと捉え、早期解決に向けて速やかに取り組むよう対応を指示してまいりました。また、二度とこのような問題が発生することのないよう病院全体の医療安全体制を万全なものとする中で、信頼の回復と安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

その他の質問項目

- ・賑わいのある市場づくり施設事業について
- ・リサイクルプラザの代替熱源について 他

市営住宅と市立甲府病院における連帯保証人について



公明党
代表質問（一問一答）

中村 明彦

質問

市営住宅契約時や市立甲府病院入院時に連帯保証人を選任することを義務付けていますが、連帯保証人となった場合のリスクなどから、連帯保証人の確保が難しくなっています。が、当局の考えをお聞かせください。

答弁

本市においては、市営住宅入居に際し、連帯保証人の選任を入居要件としてまいりましたが、特別の事情があると認める入居決定者に対しては、連帯保証人を要しないこととする甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例案を本議会に提出いたしました。今後も、入居者それぞれの事情を踏まえて関係部局と連携を図る中で、引き続き入居者一人ひとりに対して丁寧な対応を行ってまいります。

また、市立甲府病院では、患者様の事情によりどうしても連帯保

国土強靱化地域計画について

質問

国土強靱化基本法が制定され、市民の安全・安心のため、道路維持と災害時の緊急輸送路確保の必要性が高まっている中、本市の国土強靱化地域計画の策定に向けた取組についてお聞かせください。

答弁

「甲府市国土強靱化地域計画」につきましては、本市における様々な分野の計画等の指針となるべきものであり、諸施策を総合的に勘案する中で推進すべきものであることから、本市の計画の策定につきましては、今年度中の策定を予定しています。「山梨県国土強靱化地域計画」を踏まえ、適切に対応してまいります。

その他の質問項目

- ・自転車の安全対策の取組について
- ・若者の夢へのチャレンジ応援制度について 他



日本共産党
代表質問（一括）

内藤 司朗

重度心身障害者医療費助成制度について

質問

重度心身障害者医療費助成制度については、県内の他市の中では来年1月の診療分から障がい児の窓口無料を復活させる動きが出ている中、本市も障がい児については、すこやか子育て医療費助成制度を優先適用させ、窓口無料を復活させるべきと考えますが、答弁を求めます。

答弁

重度心身障害者医療費助成制度については、制度創設の経緯、趣旨からすこやか子育て医療費助成制度とは別の制度であり、障がいのある方は、乳幼児から高齢者まで、年齢を問わず障がいの続く限り障がい者の制度を適用するという考えであります。

今後、国において自治体を取り組む医療費助成制度や、減額措置の現状を踏まえ、子どもの医療費をめぐる課題を整理するとしていることから、その動向を見極めた上で山梨県や他市町村と連携し、

医療費助成制度のあり方を検討してまいります。

（仮称）中小企業・小規模企業振興条例について

質問

（仮称）中小企業・小規模企業振興条例制定については、中小企業・小規模企業を地域づくりの主体とした内容とすることが求められており、それを具体化する上でも事業所の悉皆調査が必要と考えますが、見解を求めます。

答弁

本市では、本年6月に策定した「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」の中に（仮称）中小企業・小規模企業振興条例の制定を位置付けたところであり、条例制定にあたり、中小企業等の実情と要望等を把握するため、市内工業団地との意見交換会において、各企業からご意見をいただいたところであります。今後は、検討委員会を立ち上げ市内中小企業の実態等を把握するための基礎調査を行い、今年度中に条例の骨子を作成してまいります。

その他の質問項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・（仮称）第六次甲府市総合計画について



政友クラブ
代表質問（一括）

鈴木 篤

（仮称）子育て支援部の創設について

質問

本市の将来を担う子どもを安心して産み、健やかに育てることが出来る「こども最優先のまち」を創ることとし、その具体的な取組の一環である（仮称）子育て支援部の創設を提唱されていますが、基本的な考えをお聞かせください。

答弁

（仮称）子育て支援部に つきましては、子育てに関する事業や相談窓口体制を充実させ、子どもを産み育てる良好な環境の整備を図るため、子育て施策に特化した組織づくりへの取組を進めているところであります。今後も、関係部局の緊密な連携のもとに、新たな組織の機能等のさらなる検討を行い、利用する皆様にわかりやすい組織、効率的に業務を推進する組織を念頭に、平成28年度に（仮称）子育て支援部を創設してまいります。

玉諸福祉センターについて

質問

甲府市の福祉センターの中で最も古い施設である玉諸福祉センターについては、早期に建て替えをし、時代のニーズに合った施設にすることが必要であると思われますが、お考えをお聞かせください。

答弁

玉諸福祉センターは、昭和49年に供用開始以来、地域の高齢者の集会や各種活動を通じて市民の交流の場として本市の福祉センターの中でも、利用者数が一番多い施設であります。同センターは、開館から40年以上経過していることから、建物は全体的な老朽化が進んでおり、大規模な修繕が必要になることが考えられます。このようことから、当該施設の整備に向けて、今年度作成する基本計画において、施設の老朽化の状況を調査し、整備に要する費用等を算定した上で、施設の耐用年数や来館者の利便性などを総合的に比較・検討する中で、平成29年度には、整備を予定しております。

その他の質問項目

- ・「稼ぐまち甲府」への取組について
- ・半年間を振り返ったの所感と、今後の市政運営について 他



創政こうふ
一般質問（一問一答）

天野 一

ひきこもり支援策の拡充について

質問 Q 近年、本市においてもひきこもりで悩んでいる方々が多数いると推測されますが、ひきこもりの実態把握や相談件数について、また、山梨県が新設する引きこもりの相談窓口による本市への支援要請への対応の他、今後のひきこもりに対する支援計画について伺います。

答弁 A 本市では、昨年度策定した「甲府市子ども・子育て支援計画」に「ニート・ひきこもりの若者への対応」を位置付け、現在、青少年相談室で本人や家族等からの相談を電話または面接により受け付けており、平成26年度には同一人から2件の相談が寄せられております。

今後におきましても、立ち直りや社会復帰のきっかけの一助とするため相談に対応するとともに、必要に応じて適切な機関を紹介するなど支援に努めてまいります。

子どもの貧困対策について

質問 Q 本市における「子どもの貧困」の実態をどのように捉え、子どもの貧困対策について、貧困対策の大綱制定等も含め、今後どのような取組を行っていくのかお聞かせください。

答弁 A 本市における貧困の実態として、生活保護受給世帯における17歳までの子ども及び経済的な理由により就学が困難な児童・生徒に対する就学援助費の支給対象者の合計人数は1426人となっております。

本市の子ども貧困対策については、就学援助費とともに、生活保護世帯に教育扶助や入学準備金を支給し、さらに、貧困の連鎖を防止するため「子どもの健全育成支援事業」として子どもの学習支援に取り組んでおります。子どもの貧困対策は、重要な課題であると認識しており、今後、国が「子どもの貧困対策会議」において、年末を目途に財源確保を含めた政策パッケージを策定することとしていることから、その動向を注視しながら検討を進めてまいります。

その他の質問項目

・（仮称）子育て支援部の創設について



創政こうふ
一般質問（一問一答）

小沢 宏至

史跡武田氏館跡整備事業について

質問 Q 史跡武田氏館跡整備事業の現在の進捗状況と駐車場の確保についてお示しください。また、開府500年事業との連携の仕方によってその資源価値は大きく変わると考えますが、どのように連携させるのかお示しください。さらに、観光資源としての魅力を高めるため、民間企業の活用方法について伺います。

答弁 A 史跡武田氏館跡整備事業の進捗状況につきましては、エントランスゾーンへの総合案内所の建設事業はほぼ計画にそって進んでいます。史跡の保存・整備については、想定した以上に時間を要している状況であります。また、開府500年を迎える中で武田氏館跡をシンボリックな存在として捉え、そのPRに努め、交流人口の増加につなげていきたいと考えています。

また、民間活力については、史跡公園や関連施設の維持・管理などに導入を検討し、観光資源としての魅力を高めてまいります。なお、駐車場については、総合案内所に駐車スペースを設けるほか、今後、隣接地への確保を検討していくこととしています。

消防団員確保の取組について

質問 Q 消防団員確保の取組について、定員割れの現状にどのように対処するお考えでしょうか、お示しください。

答弁 A 共助の要である消防団員の確保は、重要な課題であり、今年度、本市の新採用職員研修において、職員の入団を促すとともに、学生団員の消防団活動の功績を市が認証することにより、就職活動の支援につなげる「学生消防団活動認証制度」を創設するなど努めているところであり、今後におきましても、様々な機会を捉えて、消防団活動の広報を行い、消防団員の確保に努めてまいります。

その他の質問項目

・水源かん養林における松くい虫及び有害獣対策について
・公共交通機関について 他



公明党
一般質問（一問一答）
植田 年美

投票所入場券を活用した 宣誓書の印刷について

質問 本市の投票所入場券の裏面には投票日時や期日前投票の期間等、同封の「こうふ選挙だより」と重複する内容が印刷されていますが、投票所入場券の裏面に宣誓書を印刷し期日前投票の利便性を図ることが投票率向上の一助になるのではないかと考えますが、見解をお伺いします。

回答 本市では、「こうふ選挙だより」を投票所入場券発送時に同封し、全ての世帯へ配付し周知しており、投票所入場券への直接の記載の必要がなくなつたことから、宣誓書記入欄の印刷スペースは確保できるものと考えております。しかしながら、本市では、選挙期日の近い統一地方選挙の県議選と市議選の場合、効率性や一度の発送で済むといった経費削減を考慮し、一枚の投票所入場券で両方の選挙ができるよう、これまで取り組んでまいりました。

したがって、課題や利点について、引き続き検討を重ねる中で総合的に判断してまいります。

防災協定について

質問 現在の防災協定は締結後20年近く経ち、見直しが必要と思われます。また、甲州街道サミットの締結先の代表的な八王子市とは、交流や訓練を実施し、帰宅困難者の対策等に努めるべきと考えますが、見解をお伺いします。

回答 本市では、現在、国の機関及び他都市との間において、13の防災協定を締結し、円滑な応急対策活動が実施できる体制を整えております。甲州街道サミット関係都市との協定については、対象とする災害を「地震・風水害・火災」に限定していることから、今後見直しについては加盟都市と協議してまいります。次に、八王子市との連携については、既存の防災協定のさらなる充実について検討するよう指示をしたところであります。

その他の質問項目

- ・データヘルス計画について
- ・グラウンド・ゴルフ場の芝生化推進と認定コース設置について 他



日本共産党
一般質問（一括）
清水 英知

就学援助の支給時期及び 支給対象項目について

質問 甲府市でも、先進的な事例に学び、「新入学児童生徒入学準備費」の入学前支給を図るべきと考えます。また、新3項目についても実施すべきと考えますが、あわせて当局の見解を求めます。

回答 本市では、就学援助について、「甲府市就学援助費支給要綱」を制定して事務を執行しており、新入学児童生徒入学準備費の支給時期については、要綱で7月下旬と定めておりますが、学用品等の事前準備を目的とした援助であることから他都市の認定方法や支給時期等について調査・研究を行ってまいります。

また、平成22年度に就学援助の支給対象となった、クラブ活動費・生徒会費・PTA会費の新3項目は、生活保護を受けている要保護者については生活保護費の中から支給され、準要保護者について

は自治体の判断で対応することとされており、今後とも、他都市の動向等に注視してまいります。

新生児聴覚スクリーニング への助成について

質問 新生児聴覚スクリーニングは、聴覚障害の早期発見に有効な検査であることから、出産後数日の入院中に完全実施されることが望まれます。甲府市独自で検査費用の無料化を行うことについて、見解を求めます。

回答 本市においては、母子健康手帳発行時に、新生児聴覚検査の必要性和重要性を説明する他、新生児訪問等で、検査を受けていないと確認できた場合には、受検勧奨を行っております。さらに、検査の結果、再検査等となった場合は、家庭訪問や健診時におけることばの発達等の確認や、母親等保護者への精神面の支援等を継続的に行っております。新生児聴覚検査の公費負担については、国の動向や他都市の状況を注視してまいります。

その他の質問項目

- ・マイナンバー制度について
- ・介護保険制度の改定について 他



政友クラブ
一般質問（一問一答）

坂本 信康

JR中央線における早朝の快速列車の導入について

質問

本市は、豊かな自然に恵まれた環境や地価が安いなど、生活基盤を築く上で多くの魅力があります。その魅力を生かし、本市への移住促進や転出抑制などの人口減少対策として、JR甲府駅を朝6時台に出発するような通勤・通学を目的とした早朝快速列車の実現を早期に図るべきと考えますが、ご所見をお伺いします。

回答

JR中央線における早朝の快速列車の導入につきましては、8月に開催されました「中央東線高速化促進広域期成同盟会」総会において、早朝・深夜の特急列車の新設や、通勤通学用の快速列車の甲府までの延伸など、利便性向上に向けた要望事項が承認されたところであり、今後、JR東日本や国土交通省に対して、要望活動を行う予定となっています。

今後におきましても、山梨県等と一層強力に連携しながら、同盟会等を通じ、引き続き早期実現に

向けた要望を行ってまいりたいと考えています。

AEDの普及促進について

質問

公共施設や民間事業所以外に、深夜・早朝や24時間営業している身近な施設にAEDを設置してもらうことは可能でしょうか。また、設置場所の周知、AEDの貸出し、使用方法の講習会の充実についてご所見をお伺いします。

回答

夜間における市民の急病に対応するため、24時間営業をしている店舗等へのAEDの設置につきましては、「AEDの適正配置に関するガイドライン」に示されていることから、他都市の事例等を調査・研究してまいります。また、設置場所については、「防災タウンページ」等に施設名の記載だけでなく、地図上に表示しております。現在、貸し出すためのAEDは備えておりませんが、今後、調査・研究してまいります。なお、普通救命講習会の実施については、本市では新たに個人を対象とした講習会の開催を検討してまいります。

その他の質問項目

・防災リーダーについて
・大学生等の消防団への加入促進について



政友クラブ
一般質問（一問一答）

深沢 健吾

子育て世代の女性を対象とした就労支援について

質問

本格的な人口減少社会を迎える中、女性が快適に生活し、活躍できる社会をつくっていくことが求められ、そのために子育て世代の女性を対象とした、企業と行政が一体となった就労支援が必要だと考えますが、当局の考えをお示しください。

回答

本市では、市役所本庁舎2階の「ワークプラザ甲府」において、子育て世代に対しても福祉相談と一体となった就職支援を行っているほか、仕事と家庭の両立について「労働者セミナー」を開催するなど、意識の啓発に努めているところであります。また、昨年度策定した「甲府市子ども・子育て支援計画」において、地域で子育て世代を支えていくための体制構築に取り組んでおります。今後もハローワークをはじめとする関係機関との連携を図り、女性が安心して働くことができる環境整備に努めてまいります。

今後の教育・保育に関する支援制度について

質問

国が優先して取り組む業は、早急な取組が必要なものとなっており、地域性やニーズに沿った、甲府らしい教育・保育の支援制度を確立していく必要があると考えますが、今後、本市として取り組んでいく支援制度の具体的な方針をお示しください。

回答

昨年度策定した「甲府市子ども・子育て支援計画」のもと、妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援として、妊婦一般健康診査をはじめ、乳児家庭全戸訪問事業、乳児一般健康診査、3歳児健康診査など、きめ細かく母子の健康や育児の支援を行うとともに、相談業務などの利用者支援等を強化する中で、関係機関とさらなる連携を深め、子育て世帯への支援の充実を図ってまいります。

その他の質問項目

・甲府スポーツビューロについて
・今後の本市における交流人口について 他



政友クラブ
一般質問（一問一答）

藤原伸一郎

地域公共交通について

質問

コンパクトなまちづくりと公共交通ネットワークを両輪として課題解決を実現し、本市として公共交通についてどのように検討しているのかお聞かせください。あわせて、交通弱者問題の解決に向けての施策をお示しく

并答

本市では、「甲府市公共交通体系基本構想」において位置付けた、バス路線の再編や移動手段の持続的な確保に向けた地域主体の取組への支援等の施策に取り組んでおります。

こうした中、既存バス路線の再編については、昨年2月に山梨県が設置した、「甲府南西地域バス路線検討会」に参加し、地域内の路線等について検討しております。また、交通弱者の移動手段の確保については、本年4月から、宮本地区において、「買物・通院等送迎事業」の本格運行を開始しております。

グラウンド・ゴルフの活用及び全国大会の誘致について

質問

甲府市ではグラウンド・ゴルフをスポーツ振興の一環として活用する考えがあるか、また、全国大会の誘致も積極的に行う考えがあるかどうか、あわせてお示しくください。

并答

本市においては、「甲府市グラウンド・ゴルフ選手権大会」等を開催しているほか、市民体育大会等の競技種目にも積極的に取り入れているところであり、また、グラウンド・ゴルフの活用や各種大会の誘致については、本格的なグラウンド・ゴルフ場の整備されておりませんが、このふ未来創り重点戦略プロジェクトにおいて、豊かな自然環境等の地域資源を生かしたスポーツの振興と情報発信に力を入れ、甲府の魅力の向上や交流人口の増加につなげられるよう取り組んでいくこととしており、今後は、関係団体とも協議・連携する中で検討してまいりたいと考えております。

その他の質問項目

・企業誘致、就職支援対策について
・リニア中央新幹線駅周辺整備について 他



無所属
一般質問（一括）

神山 玄太

（仮称）第六次甲府市総合計画の目標人口について

質問

平成28年度を初年度とする、現在策定中の（仮称）第六次甲府市総合計画で、計画の目標年度である平成37年における目標人口を国立社会保障・人口問題研究所の推計人口と比較して2200人増としているが、その増やしたい人口のターゲットはどこか、お示しくください。

并答

現在策定を進めております総合計画の基本構想においては、人口減少への対応を最重要課題と捉えていることから、目標人口を設定し、人口減少の抑制に向けた施策を推進していくこととしています。

本市の人口の特性としまして、就学時に当たる15歳から19歳で転入者数が超過しているものの、就職時に当たる20歳から24歳では転出者数が大幅に超過しているため、こうした年代を対象にして施策を推進していくことが効果的である

と考えています。

創業支援について

質問

起業しようという者に経営技術、金銭、人材等を提供し、支援することによって「しごと」の創出につながると考えますが、本市の考えをお示しくください。

并答

本市では、今年度、「創業支援事業計画」を策定し、関係省庁との事前協議を終え、本申請を行い、10月初旬には認定が受けられる見込みとなっております。本計画では、個々に創業希望者を支援してきた関係機関と本市が連携し、ネットワークを構築することで、発想から創業、ノウハウや金融支援等を、創業希望者が円滑に受けることが可能な体制を構築しました。また、民間においても「中心市街地リノベーション事業」に採択された取組として、インキュベーション施設やシェアオフィス等を整備し、創業や雇用の場の創出を図ることとしております。

その他の質問項目

・放課後子供教室の整備及び放課後児童クラブとの連携について
・移住、定住促進について 他

各常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件の審査で出された主な経過等の概要です。

民生文教委員会

◆議案第70号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）中当委員会所管分 第1表歳入歳出予算補正中歳出第4款

◆議案第73号 平成27年度甲府市病院事業会計補正予算（第1号）

2案については、委員会審査の前に民生文教委員会・総務委員会連合審査会を行い、甲府市及び市立甲府病院においては、補償方針の法的責任と謝罪を第一として、患者様及び御家族の皆様への対応を行うとともに、安全安心な医療を提供することにより、信頼回復に努めるよう求める意見がありました。また、患者様及び御家族の皆様には、事情に配慮した丁寧な説明を行い、不安の解消に努めるよう求める意見がありました。

その後の当委員会において、議案第70号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）中当委員会所管分及び議案第73号 平成27年度甲府市病院事業会計補正予算（第1号）の2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

●請願第27-9号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願について

学校教育の更なる充実を図るには、豊かな教育環境を整備するための30人以下学級実現及び教育予算の拡充等が必要であることから、願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。



環境水道委員会

◆議案第74号 平成27年度甲府市下水道事業会計補正予算（第1号）

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



総務委員会

◆議案第75号 甲府市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について

◆議案第78号 甲府市自転車駐車場条例の一部を改正する条例制定について

◆議案第90号 市政功労表彰の決定について

◆議案第70号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）中当委員会所管分 他3案

7案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第92号 教育委員会委員の任命について

◆議案第93号 監査委員の選任について

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。



経済建設委員会

◆議案第72号 平成27年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算（第1号）

◆議案第70号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）中当委員会所管分 他3案

5案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

●請願第27-10号 森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める請願について

願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。



審査の内容は、本会議で委員長から報告され、本会議の議決（意思決定）の参考となります。

平成27年9月定例会審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	創 政 こうふ	公明党	日 本 共産党	社 会 民主党	無所属
議案第69号	専決処分について（和解及び損害賠償の額の決定について）	9月14日	承 認	○	○	○	○	○	○
議案第70号	平成27年度甲府市一般会計補正予算（第3号）	//	可 決	○	○	○	○	×	○
議案第71号	平成27年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第72号	平成27年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算（第1号）	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第73号	平成27年度甲府市病院事業会計補正予算（第1号）	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第74号	平成27年度甲府市下水道事業会計補正予算（第1号）	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第75号	甲府市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第76号	甲府市職員退職手当支給条例及び甲府市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第77号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第78号	甲府市自転車駐車場条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第79号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第80号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第81号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第82号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第83号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第84号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第85号	平成26年度甲府市各会計別決算の認定について	9月28日	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第86号	平成26年度甲府市地方卸売市場事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び 認 定	○	○	○	○	○	○
議案第87号	平成26年度甲府市病院事業会計決算の認定について	//	認 定	○	○	○	○	○	○
議案第88号	平成26年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び 認 定	○	○	○	○	○	○
議案第89号	平成26年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第90号	市政功労表彰の決定について	9月14日	可 決	○	○	○	○	○	○
議案第91号	平成27年度甲府市一般会計補正予算（第4号）	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第92号	教育委員会委員の任命について	//	同 意	○	○	○	○	○	○
議案第93号	監査委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第94号	訴えの提起について	//	可 決	○	○	○	○	○	○
議案第95号	工事請負契約の変更契約の締結について	9月28日	//	○	○	○	○	○	○
甲議第7号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書提出について	9月14日	//	○	○	○	○	○	○
甲議第8号	森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○
甲議第9号	災害ボランティア割引制度の創設を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○
甲議第10号	地方単独事業に係る国民健康保険の減額調整措置の見直しを求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○
甲選第8号	甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙について	//	当 選	○	○	○	○	○	○
甲選第9号	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○

○賛成・×反対

政友クラブ ◎荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久 廣瀬集一
鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩
末木咲子 深沢健吾 藤原伸一郎 鮫田光一
創政こうふ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男 天野 一
小沢宏至 望月大輔 向山憲稔

公 明 党 ◎中村明彦 兵道顕司 植田年美 佐野弘仁 長沢達也
日本共産党 ◎内藤司朗 清水英知 木内直子
社会民主党 山田 厚
無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

○甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙当選者
山田 厚

○甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠議員の
選挙当選者
鮫田光一 内藤司朗

◎人事案件については、次のとおり同意されました。
◆教育委員会委員の任命について 原 玲子
◆監査委員の選任について 小林憲次郎 （敬称略）

委員会構成の変更
議会運営委員会
神山玄太
総務委員会
内藤司朗
経済建設委員会
鮫田光一

鮫田光一議員が
平成27年7月23日付けで
繰り上げ当選されました。
会派：政友クラブ



平成27年9月定例会請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	第27-9号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願	民生文教	採 択
	第27-10号	森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める請願	経済建設	//
	第27-2号	戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の廃案を求める意見書採択についての請願	総 務	継続審査
	第27-6号	沖縄県民の声に共感し地方自治の堅持を国会と政府に求める意見書提出を求める請願	//	//

意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書（抜粋）

（前略）将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要がある。

以上のことから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣 内閣官房長官

森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める意見書（抜粋）

（前略）平成27年度税制大綱及び「骨太方針2015」において、「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源

の確保について、財政面での対応、森林整備等に要する費用を国民全体で負担する措置等、新たな仕組みの導入に関し、森林整備等に係る受益と負担の関係に配慮しつつ、COP21に向けた2020年以降の温室効果ガス削減目標の設定までに具体的な姿について結論を得る」とされたところである。

また、山村振興対策については、山村振興法に基本理念が盛り込まれた附帯決議が確認されているものの、その附帯決議を踏まえた、国、地方段階での具体的な対策が必要となっている。

よって、森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興法に基づく山村振興対策の推進を図るべく、国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く要望する。

1 地球温暖化防止対策に不可欠な森林吸収源対策の推進を図るため、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源を追加する等、森林整備推進等のための安定財源を確保すること。

2 地域振興・山村振興に向けて、森林等の保全の推進並びに山村における産業基盤及び生活環境の整備の促進を図るとともに、定住を促進するため、地域の中小企業における受注機会の増大、所得の向上に向けた支援、雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援等必要な方策を講じること。

提出先

衆参両議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣 林野庁長官

災害ボランティア割引制度の創設を求める意見書（抜粋）

（前略）ボランティアは自発的な奉仕活動であるが、過去の実績から、首都直下地震や南海トラフ地震が起きると、1日10万人以上、延べ1000万人以上のボランティアが必要になるとがわかっていく。

（中略）まずは、彼らの被災地への移動手段と滞在場所にかかる経費の援助を社会的に図るべきである。

これまで、鉄道会社や航空会社、旅館などの民間企業が独自に割引制度を実施したり、地方自治体がボランティアバス運行の支援をしたりするなど、官民ともに、負担軽減のための取組を行った事例がある。国は、こうした動きを更に広め、多くの団体が取り組みやすくなるような支援の在り方を速やかに検討し、そのための官民協働の社会システムを構築すべきである。

よって、次の事項について実現されるよう強く求めるものである。

1 地震や津波、豪雨などによる大規模災害発生時に、被災地に赴く災害ボランティアに対して交通費や宿泊費を割り引く制度を創設すること。

提出先

内閣総理大臣 国土交通大臣 経済産業大臣

地方単独事業に係る国民健康保険の減額調整措置の見直しを求める意見書（抜粋）

（前略）国民健康保険改革に当たっては国と地方の協議によ

り、地方単独事業に係る国庫負担調整措置の見直しなどが今後の検討課題とされたところである。

一方、地方創生の観点から人口減少問題に真正面から取り組むことが求められており、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費の助成制度の拡充などに取り組む事例が多く見られる。

さらに、平成26年度補正予算で用意された国の交付金を活用し対象年齢の引き上げなどの事業内容の拡充に取り組む自治体も報告されているところである。

こうした状況の中で、全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度など単独の医療費助成制度に対する国の減額調整措置について、次のとおり早急に見直しを行うよう強く要望する。

1 人口減少問題に取り組むいわゆる地方創生作業が進む中、地方単独事業による子ども等に係る医療費助成と国民健康保険の国庫負担の減額調整措置の在り方について、早急に検討の場を設け、地方の立場に立つて結論を出すこと。

2 検討に当たっては、少子高齢化が進行する中、子育て支援、地方創生、地域包括ケア等の幅広い観点から実効性ある施策を進めることが必要であり、そうした観点から子ども等に係る医療の支援策を総合的に検討すること。

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣

平成26年度決算審査特別委員会審査の概要

**平成26年度剰余金の
処分の可決及び決算の認定**

平成26年度甲府市各会計別決算及び各企業会計別決算について、9月9日に決算審査特別委員会を設置及び委員を選任し、15日から25日まで審査を行いました。

◆決算審査特別委員会

委員長 鈴木 篤
副委員長 山中和男
委員 坂本信康
長沼達彦
小澤 浩
末木咲子
鮫田光一
金丸三郎
望月大輔
向山憲稔
中村明彦
佐野弘仁
内藤司朗
山田 厚



◆総括質問

○平成26年度の財政運営について
市税収入においては増収となったものの、地方交付税においては大幅な減収となったが、歳出予算の効率的な執行や、基金の効果的な活用により、市民生活に直結する福祉、環境、教

育に関する施策を重点的に推進するとともに、債務負担行為償還金の繰上償還や有利な市債の活用により、後年度負担の軽減を図ってきたところであり、今後においても、行財政改革の継続的な推進に加え、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」に掲げる「稼ぐまち甲府」を推進し、より一層の財政基盤の安定に繋げ、世代間の負担の公平性を保ちつつ、責任を持って魅力ある「わがまち甲府」を次代に引き継いでいけるよう健全な財政運営を行っていくとの答弁がありました。

これに対し、厳しい財政状況下ではあるが、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」を着実に推進するよう求める意見がありました。

○「中心市街地活性化政策パッケージ」の進捗状況と今後の取組について

「中心市街地活性化政策パッケージ」の中心市街地における住みやすさと訪れやすさの追求を基本的な視点とした基本路線については、しっかりと受け継いでおり、個別施策のうち、中心市街地の居住・定住の促進をはじめ、駐車場対策や回遊道路の整備、旧銀座ビルの再整備などについては、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」や、昨年度策定した「甲府市中心市街地活性化基本計画」に位置付け、現在、その推進に向けて取

り組んでいるところであり、今後においても、具体化が可能な施策については、計画的に推進していくとの答弁がありました。

これに対し、歴史物語都市を感じる事ができる中心市街地へ変貌させていくための具体的な道筋をつけるべく、「歴史物語都市こうふ」の実現を目指す方向性として示された「中心市街地活性化政策パッケージ」の精神を、今後も引き継いで推進していくよう求める意見がありました。

◆一般会計

▼歳入

山梨県からの移譲事務交付金についていただいたのに対し、山梨県で行った場合の事務量を想定した額に対して、均等割と件数に応じた金額により算定されており、適正に交付されているとの答弁がありました。

このほかの主な要望・意見
・健全な財政運営に、引き続き努めること。
・市営住宅使用料の滞納者への対応を引き続き丁寧に行うこと。

▼歳出

○総務費

防犯街路灯のLED化についていただいたのに対し、自治会が所有する防犯街路灯のLED化を5か年計画で実施しており、交換希望灯数が増えている現状から計画を前倒ししているとの

答弁がありました。

これに対し、多くの市民から期待されている事業であるため、早期実現に向けて取り組むよう求める意見がありました。

このほかの主な要望・意見
・自治会加入促進について、更にPRに努めること。
・大型ビジョンの活用方法について、更に検討すること。
・地元バス会社と協力して、引き続きバス路線の維持に努めること。

○土木費

遊亀公園附属動物園の整備についていただいたのに対し、現在の動物園の問題点や利点を整理し、整備検討に当たったの基本方針を決定したとの答弁がありました。

これに対し、開園100周年に向けて、十分な検討を行うよう求める意見がありました。

このほかの主な要望・意見
・緊急輸送道路の沿道建築物の



耐震化を進めるため、的確な指導を行っていくこと。
・甲府駅周辺土地区画整理事業については、円滑な事業推進に努めること。

◆特別会計

○介護保険事業特別会計

いきいきサロン助成事業の取組についていただいたのに対し、高齢者の引きこもり防止など介護予防の一つとして取り組んでいる事業であり、開設に当たっては、地域の実情を考慮した対応を行っているとの答弁がありました。

これに対し、いきいきサロンが長期にわたって運営できるよう、引き続き支援を求める意見がありました。

◆企業会計

○病院事業会計

救急科についていただいたのに対し、新設に伴い救急患者の受入が円滑化され、受入件数が増加したことで、地域の急性期医療需要に当たっているとの答弁がありました。

これに対し、市民が安心して医療が受けられる体制づくりに、引き続き努めるよう求める意見がありました。

甲府市議会だより編集委員会

委員長 池谷陸雄
副委員長 兵道顕司
委員 末木咲子 天野 一
長沢達也 木内直子
山田 厚

甲府市議会ホームページ・Eメール
URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>
Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉